



太田市議会議員 大川 陽一

第 18 号(秋冬号)

発行：大川よういち後援

通 信

公共バスの

取り組みと今後について

質問 本市の公共交通における、市営バス「シティライナーおおた」、スクールバスを活用した市営無料バス、

おつかがい市バスの現状を伺います。

答 弁 平成三〇年度の利用者は市営バスが五三三、三五一

人、市営無料バスが三八、三七六人、おつかがい市バスが三三、五五六人です。

質問 市長が新規に構想しているという、交通弱者のためのドア・ツー・ドアの交通手段についての概要を伺います。

答 弁 おつかがい市バスの停留所まで歩いて行けない人のために、タクシーを利用して玄関先まで送迎を行うことを考えています。おつかがい市バスの予算、約五、六〇〇万円の範囲内で今よりも利便性の高いサービスが提供できるのではないかと思います。

質問 おつかがい市バスを中心に、定時性、速達性のある市営バスと、新規のドア・ツー・ドアを併用することで、より多くの

市民が利便性を享受できると思います。樹木に例えると、市営バスは主要地点を結ぶ幹。おつかがい市バスは広範囲にわたる使い勝手の良い枝。新規のドア・ツー・ドアは限定された本場に必要なた移動をカバーする葉。の役割を果たすと考えますが、所見を伺います。

答 弁 おつかがい市バスは利用客一人当たり約七〇、〇〇〇円の費用が掛かっており、ドア・ツー・ドアで多額の予算を掛けるべきではないと思います。おつかがい市バスを廃止し、真の交通弱者に対してはドア・ツー・ドアで対応したいと考えています。

※「私の考え方」公共交通政策は交通弱者の皆さんにバスやタクシーを利用しながら、安全安心で暮らしやすい地域の実現に向けた施策であり、高齢者だけでなく、移動手段を必要としている市民のため、また、太田市の持続可能な自治体を築くためにも、重要な取り組みであると考えます。

土砂崩れの危険性あり、改修！

太田地区金山町の皆さんから、危険箇所の改修を依頼され、早速、この場所の詳細を調査し、担当課と協議し、スピード感ある対応で、二週間後には改修を完了致しました。



完成後



太田市の公共バスの疑問

- 無料バスは現状のスクールバスで良いのか？
- おつかがい市バスは廃止でよいのか？
病院・買物・行政センター・コンビニなど
761か所の停留所があり、便利（H29年度）
- 新規デマンドタクシーは混乗で良いか？
- 病院・買物以外は不可？でよいのか？

危険！土留め改修！

8050 問題が社会問題化、本市の支援について

8050 問題とは？ 内閣府が 40 歳から 64 歳までの中高年を対象にした引きこもりの調査をしたところ約 61 万人いたそうです。15 歳から 39 歳までの 54 万人よりも多いことが分かりました。合わせて 100 万人以上いるということです。高齢になった 80 代の親が 50 代の引きこもりを抱えて困窮する 8050 問題が全国的な課題となっています。

ひきこもり
あるようで
状態に陥
度目は高校
浪人や大学
ス、四度目
のタイミン



になりやすいタイミングは人生で 4 度
す。一度目は中 1 ギャップから不登校
り、そのまま成人になったケース。二
入試から。三度目は高校卒業後、大学
中退から引きこもり状態になるケー
スは就職活動で挫折や退職時、再就職時
グなどと言われています。最近では 4 度

目の就活時または再就職時のタイミングが増えているそうです。**自立相談支援センターにおける相談の現状は？**平成 30 年度自立相談支援センターでの相談者数は、延べ 259 人であり、そのうち、ひきこもりに関する相談者数は 14 人となっています。来所者の内訳は、本人 4 人、本人の親 6 人、本人の姉 1 人、地域包括支援センター 1 人、太田市ボランティアセンター 1 人、ひきこもりの親の会 1 人。当事者の性別としては、男性 10 人、女性 4 人。年齢としては、20 代 5 人、30 代 2 人、40 代 2 人、50 代 2 人、60 代 1 人、不明 2 人。**県のひきこもり支援センターの現状は？**県では心の健康やひきこもりなどの相談窓口 12 か所の保健福祉事務所に相談窓口「ひきこもり支援を設置し、「相談支援家族教室、研修会や演会」を実施している。**国のひきこもり対策は？**本年 7 月厚生労働省の有識者会議の報告で、ひきこもりや貧困、介護といった家庭の問題について、相談窓口を 1 か所で対応できるように体制の整備を自治体に求め、法改正の準備を進めているようです。今後は国の動向に合わせ、組織体制づくりを研究していきたい。市は「家族会の意見を聞き、関係課と連携しながら、行政としてどのような支援ができるか研究していきたい」と、市長は「本人や家族が抱えている諸課題を市庁舎以外の場所で、しかもワンストップで相談支援したい」と答弁しました。

水道企業団に緊急質問！有機フッ素化合物（PFHxS や PFOS、PFOA）

沖縄県宜野湾市の住民を対象とした血液調査の結果が公表され、日本人の通常値の 5.3 倍もの PFHxS（ピーエフ・ヘクスエス）と呼ばれる有機フッ素化合物が血液に含まれていました。特に毒性が明らかになったのが PFOS や PFOA で、焦げ付かないフライパンや水をはじく衣類、自動車や半導体、液晶分野向け、製鐵、アルミニウム精錬など多岐にわたって需要があるようです。この物質は「フォー・エバー・ケミカル」と呼ばれ、分解されることがほとんどなく、工場等から出された物質が地下水や河川に広がり、その水を長期に飲むと体内に蓄積され、下痢や下血が続く潰瘍性大腸炎や腎臓がんなどを発症すると考えられています。神奈川県引地川で基準の 1.7 倍、千葉県市原市の用水路では 48 倍もの高濃度が検出されました。そこで、企業団としては安全安心な水道水を第 1 に考えていると思いますので、定期的に有機フッ素化合物の検査を行う事が必要ではないか？…と。答弁は水の安全を第 1 優先と考え対応を検討していきたい。…との事でした。

皆様の「声を」お聞かせください。市民相談も受け付けています。
ホームページやフェイスブックなどで色々な情報を発信しております。

〒373-0057 太田市本町 47-15 TEL 090-3146-821 FAX 0276-60-4047

E-mail youti@bb.mbn.or.jp HP <http://www.okawatoichi.net>